

uniFLOW Online「E メールログイン」機能に関する脆弱性対応について

対象ユーザー確認手順（テナント管理者）

対象ユーザーの確認／通知設定

1. uniFLOWOnline にログインします。

影響を受ける可能性のあるユーザーが存在する場合、「ダッシュボード上部のバナー」「ダッシュボード内通知ウィジェット」の2箇所で通知されます。



2. 通知のリンクから、「アプリの確認ステータスの管理」画面を表示します。

3. 「アプリの確認ステータスの管理」画面より、ユーザーへの通知スケジュールを設定します。

アプリの確認ステータスの管理

セキュリティ通知. テナント内のユーザーが、各自のアカウントに接続されているアプリを確認する必要があります。 [ヘルプで詳細を確認する](#)

アプリの確認が必要なユーザー 1

このテナント内のユーザーのうち、自分のアカウントに接続されているアプリを確認する必要があるユーザーの数です。

ユーザーへの通知開始日 *

アプリの確認を行う必要があるユーザーへの通知を開始する日付を指定します。通知は、ユーザーがuniFLOW Onlineにログインしたときに表示されます。

通知Eメール 通知Eメールを送信する
有効にすると、各ユーザーにEメールで通知が送信されます。

確認期限 *

ユーザーがアプリを確認する期限を設定できます。指定した日付までに確認されなかったアプリは、その日に接続が解除されます。アプリの機能を再度使用するには、ユーザー自身でアプリを再登録する必要があります。確認期限に2024/07/06より後の日付は指定できません。

* 必須フィールド

①アプリの確認が必要なユーザー

影響を受ける可能性があるユーザー数が表示されます。

②ユーザーへの通知開始日

影響を受ける可能性があるユーザーのダッシュボード画面に、接続中アプリの確認を促す通知を表示する日を設定します。

③通知 E メール

影響を受ける可能性があるユーザーにメール通知をする場合、チェックをいれます。

④確認期限

ユーザーによる接続中アプリの確認期限を設定します。設定日を過ぎると未確認のユーザーはアプリケーション接続が解除されます。次回接続時に再登録（ログイン認証）を実施頂く必要があります。